

■**広瀬旭莊** 儒学者。**長兄淡窓が開いた家塾{威宜園}を経営**，**堺で家塾を開き**，**諸国を巡遊して**，**勤王家を輩出。**

ひろせきよくそう

シヅ船狼藉・1807＝ 豊後国日田に生れた。広瀬貞恒の子，**__広瀬淡窓の弟。**

__幼時より長兄淡窓の指導を受け，

伊能測量終・1816＝ **9歳**：

水野忠成老中1818＝11歳：

シボ*朴来日・1823＝16歳： **__筑前の亀井昭陽に師事**，

異国船打払令1825＝**18歳**： **__続いて筑後の樺島石梁に**，

日本外史・・1827＝20歳： **__備後の菅茶山に学び**，

シボ*朴事件・1828＝21歳： **__豊後国高田に家塾を開き**，**また淡窓に代わって肥前田代の東明館で教授。**

富嶽三十六景1831＝24歳： ***帰郷し**，**兄淡窓に代って威宜園を主宰した。**

その後四方を旅して廻り，諸大家と交わって学識大いに進んだ。江戸に出てきたのは前後2回。

高島砲術・・1834＝**27歳**：

・・・・・1836＝29歳： ***和泉国堺で開塾。**

大塩平八郎乱1837＝30歳： 1回目は兄の依頼を受け家事のことと，江戸での情報蒐集といった目的で，羽倉簡堂を頼って江戸に下り，
林述斎の門に出入りした後，

通塾オプン・1838＝31歳： 大坂に帰って，門人に教授。

順天堂始・・1843＝**36歳**： 2回目は儒学者として一旗あげよう，場合によっては諸大名に招勝されようという目的を持っていたと思われる。それと同時に前年暮れ，兄淡窓が苗字帯刀を許されたことのお礼言上，とりわけ間に入ってくれた羽倉簡堂に礼をする目的もあった。後者の方はとどこおりなく済んだが，前者の方は結局失敗に終わってしまった。***老中水野忠邦から幕府への仕官を求められたが，謝辞。**

天保改革終・1844＝38歳： 肥前大村藩主に招かれ，江戸に滞在。浜町に家を借り，そこを私塾として子弟の教育にあたるが，最大の失敗は，日田に置いてきた妻松を江戸に呼びよせたが，半歳ほどして死なせてしまったことである。そのほか旭荘宅で催した新年宴会で，来会者の1人の刀が紛失したり，盗難事件が起こったりして，

阿部正弘首座1845＝38歳：

孝明天皇・・1846＝39歳： この年まで，満3年3ヶ月ほどで「辛苦万端，東遊後1吉ノ記スベキコト無シ」という状態で大坂に戻る。

__仕官を好まず，もっぱら大坂に留まり，

尊徳報徳論・1851＝**45歳**：

ペリー来航・1853＝47歳：

その後は旅をしたり，また関西を中心に活躍していた。詩人としてすぐれ，清国近世の大儒愈曲園は，この人をもって東国詩人の冠とした。また勤王の志も厚かった。

桜田門外変・1860＝53歳：

遣欧使節・・1861＝**54歳**： 日田に帰り，雪来館を開いた。

生麦事件・・1862＝55歳： 再び大坂に出，摂津国池田に移り，

8月18日政変 1863＝56歳： **__病没した。**